

第2回 新見市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成27年10月29日(木)  
午後3時30分開会 午後4時30分閉会

2 場 所 新見市役所 第5委員会室

3 出席構成員

市長	石垣	正夫
教育委員長	吉田	徹
教育委員長職務代理者	小野	貴美江
教育委員	安達	友恆
教育委員	竹本	俊郎
教育長	中田	省吾

4 欠席者 なし

5 説明のために出席した職員

教育部長	安藤	暢重
総務部企画政策課長	永田	寛生
教育総務課長	石橋	博
学校教育課長	村上	弘
生涯学習課長	福本	勇
教育総務課主幹	小川	泰典
企画政策課政策係長	藤井	和昭

## 1 開 会

企画政策課長：平成27年度第2回新見市総合教育会議の開会を宣する。

## 2 市長挨拶

### 【市長】

総合教育会議は、本年4月1日の改正地方教育行政法の施行に伴い、全ての地方自治体において設置することになった。今回は第2回目の会議ということで、今年度策定を予定している新見市教育大綱（案）について協議したい。

皆様からの忌憚のないご意見をいただいで策定したいので、よろしくお願ひしたい。

## 3 議 事

事務局より、新見市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長に議事進行を求める。

### (1) 新見市教育大綱（案）について

#### 〔説明〕

事務局より、新見市教育大綱（案）の趣旨、構成、基本理念、基本方針等について、読み上げて説明する。（議題1）

#### 〔質疑〕

### 【教育委員】

全体的には、問題ないと考えている。大綱（案）の基本方針の中に、“豊かな人間性や社会性をそなえ、何事にも積極的で主体性のある、「ふるさとを愛し、世界で活躍するたくましい新見っこ（塩から子）」の育成に努めます。”とあり、その中の“塩から子”という表現について、教育委員の中でも話題になったが、“元気のある子”という意味で捉えている。

### 【市長】

この表現は、「新見市創生総合戦略」でも触れているが、その策定過程でもかなり議論となった。“元気な子”は普通で、やはり“塩から子”を育てる必要があるとの結論になった。

**【教育長】**

県の会議などで、この“塩から子”について発言したが、市外の参加者からはこの表現をあまり知らないとの反応があり、この表現は本市独特のものではないか。

**【教育委員】**

我々の幼少期には“塩から子”といえはあまり良いイメージはなかったが、元気があつて、たくましい子というイメージで捉えれば、インパクトがあつていいと思う。

**【教育委員】**

確かに、インパクトがある言葉なので、誤解されることもあろうかと思うが、新見の教育は“塩から子”の育成を目指すと言えは、わかりやすく、1回聞けば忘れない表現であるので、市民の皆さんに伝わりやすくてい良いと思う。

**【教育委員】**

人は生まれながら“塩から子”と甘い者がいると思う。社会に出て世渡りをするのも“塩から子”の方が適しており、おとなしくて優しい子をいかに積極的な子に導いていくかが課題になる。

**【市長】**

企業などでも、成績が優秀でも、うまく人間関係が作れない人もおり、積極的な人の方が求められている。

**【教育長】**

「新見市創生総合戦略」関連の事業として、今年度から、宿泊しながら地域の人たちの協力を得て、農林業などの体験を行う研修を実施することとしている。

例えば、林業の伐採や千屋牛の飼育などを行い、そこで実際に従事している人から作業を教わったり、話を聞いたりすることで、仕事を知り、興味を持ち、子どもが将来の職業として考えることになれば、目的を持って市外へ出て、戻ってきてくれることも期待できる。

合わせて、地域の方から教わる中で、いろいろな話をする中で、地域への愛着がわき、郷土愛も育むことができ、後継者の確保につながっていくことも期待している。

**【学校教育課長】**

この事業は、来年1月頃から実施する予定。

**【教育委員】**

おとなしい子が積極的になれば、授業で手を上げたり発表したりするようになる。そのように脱皮するように導いていくことは大変だろうが、社会にもうまく順応できる人に育つことが期待できる。

**【市長】**

本市で行っている i p a d の授業では、全員の意見や回答が表示されるので、個々の理解度がわかりやすい。こうしたものの活用も考えられる。

**【教育委員】**

昔の子どもは、遊びの場が屋外で、集団で遊んでいたが、現在はそうしたケースが少なくなっている。宿泊体験をとおして、集団での行動を学び、自然に触れることは意義のあることだと考える。

**【市長】**

現在は、昔と変わって子どもの安全面を特に重視することが多いため、自然の中での活動ができにくい状況になっている。

**【教育長】**

あるところで、1週間程度の宿泊研修に参加した子どもが、戻ってきたら自己肯定感を持てるようになり、見違えるほど成長したという例がある。

**【市長】**

元気な子どもを皆さんで育てていきたい。教育に必要なことは予算を確保して推進していきたい。

**【教育委員】**

基本理念が、「ふるさとを愛し、未来を拓く、たくましい人づくり」とあるが、「思いやりのある人」であるとか、「優しい人」といった言葉を入れてはどうか。

**【市長】**

皆さんのご意見があればご発言を。

**【学校教育課長】**

「思いやり」については、基本方針の中で、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」とあり、これが、「知」「徳」「体」を指し、学校教育

の基本部分として、大事にしている。また、今後予定している宿泊研修の事業において目指す“ちから”として、体験活動によって厳しさに耐え、困難に打ち勝つ“ちから”、これが精神的な部分、それから、仲間と協力して、現状を打開する“ちから”、これが思いやり・協力の部分、それから、体験を通して郷土を見直し夢を持ち、未来を切り開く“ちから”の育成を考えている。この中でも、思いやりを持ち、ふるさとを愛す心の育成を図ることとしている。

**【教育委員】**

宿泊研修の中で、共同生活する上で相手を思いやる心が必要であるし、各作業の中でも思いやる必要がある。スローガンとして、“未来を拓き、たくましく”という前向きな表現のみを入れることは悪いわけではないが、その中に「やさしさ」であるとか「思いやり」という言葉を入れても良いのではないか。

**【教育委員】**

「思いやり」や「協調性」は、教育の基本理念かつ基本姿勢であり、根本中の根本である。教育はこれが無いと成り立たないものである。あえて、本大綱の中に入れることは、新見らしさを掲げ、推進するうえで内容が薄まる印象がある。大切なことではあるが、原文で良いのではないかと考える。

**【学校教育課長】**

「思いやり」は、基本理念として大切なことと考えている。新見の子どもたちを考えた時、人を思いやる心については、十分できており、他の地域に誇れるものであると思っている。今後、“塩から子”の育成を進める上で、体験活動の中で、仲間づくりなどをおして協調性や積極性を育み、やさしさの上にたくましさを持った子どもの育成を目指している。そうした取組を進める上で、「思いやり」を基本前提として捉えている。

**【教育委員】**

“塩から子”を目指すということなので、原文のままが良いのではないかと考える。ただし、おとなしい子もおり、それぞれを伸ばしていくことも大切で、大人がそれを容認する心を持つ必要がある。

**【教育長】**

「新見市創生総合戦略」を策定し、地方創生元年であり、同時に教育創生元年ともいえるので、さらに議論を行い、内容について相互理解を得て策定するほうが良いのでは。大綱は、本日策定しなければならないのか。

【企画政策課長】

本日策定しなければならないということはない。

【市長】

再度、教育委員の皆さんで協議していただいて、また本会議で議論してはどうか。

【教育委員】

現在、2つの基本方針となっているが、追加してもよいのか。

【市長】

協議していただいて、必要であれば追加していただいて構わない。

【再協議し、改めて本会議を開催することを確認】

【市長】

本日は皆さんから様々な意見を出していただいた。再度内容を十分検討していただき、改めて協議し、より良い大綱にできればと考えているので、よろしく願います。

【市長】

その外に何かあるか。

【構成員】

特に無しの声

【市長】

無ければ事務局へ会議の進行を戻す。

## 5 閉 会

企画政策課長：平成27年度第2回新見市総合教育会議の閉会を宣する。